

2011年12月1日

歯科署名 25万7千

患者窓口負担軽減、保険給付拡大を求め 全国連絡会が国会内集会



「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は1日、「患者窓口負担軽減、保険給付拡大を求める集会」を国会内で開きました。全国の医師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士ら82人が参加しました。

全国連絡会代表世話人の宇佐美宏氏(保団連歯科代表)はあいさつで「連絡会が取り組んでいる歯科署名は25万7000筆に達した」と報告。「窓口負担の軽減と保険給付の拡大を実現するため、50万筆の目標に向かってさらに取り組みを進めよう」と訴えました。

宮城県の代表は、被災地の歯科医療受診について報告。窓口負担免除措置で特に歯科を受診する患者が大幅に増えたと紹介。来年2月末で打ち切られる措置を3月以降も延長・継続すべきと訴えました。

大分県連絡会の代表は、口腔内が劣悪な状況にある子どもが増えているなかで歯科の受診を控える現状を報告。兵庫や愛知、大阪の代表は、窓口負担の軽減と保険給付の拡大の署名のとりくみと請願項目が患者さんの切実な要求であることなどを紹介しました。

このほか、無料定額診療の事例報告や歯科技工士、歯科衛生士からの報告がありました。

集会には、民主、自民、共産、社民などの衆参国會議員9人が挨拶。「歯科医療の改善に向

け党派を超えて取り組む」、「自由診療でしか経営が成り立たないのはおかしい」、「医療費総額を抑えるためにも診療報酬引き上げ、歯科保険診療の拡充が必要」、「指導、監査改善に力を尽くす」、「受診時定額負担は撤回すべきだ」などと発言しました。



この日、全国連絡会では、集めた国会請願署名約26万筆のうち、11万筆余を各党国会議員に提出。また、窓口負担を大幅、保険給付の拡大、保険医への人権無視の指導、監査の抜本的改善、「社会保障・税一体改革」案、TPPへの参加の中止などを厚生労働大臣、衆参国会議員等へ要望しました。

集会に参加し挨拶いただいた衆参国会議員は次のとおりです（50音順、敬称略）。

※衆議院議員・・・川口浩(民主・比例北関東)、重野安正(社民)、橋本勉(民主・比例東海)、初鹿明博(民主・東京)、宮崎岳志(民主・群馬)、高野守(民主・比例北関東、参加のみ)、以上本人。中塚一宏(民主・神奈川、メッセージあり)、楠田大蔵(民主・福岡)、工藤仁美(民主・比例北海道)、志位和夫(共産・比例南関東)、瑞慶覧長敏(民主・沖縄)、辻恵(民主・大阪)、以上秘書。

※参議院議員・・・石井みどり(自民・比例)、田村智子(共産・比例)、中村哲治(民主・奈良)、古川俊治(自民・埼玉)、以上本人。大久保勉(民主・福岡)、岡崎トミ子(民主・宮城)、自見庄三郎(国民・比例)、徳永エリ(民主・北海道)、友近聡朗(民主・愛媛)、西村まさみ(民主・比例)、姫井由美子(民主・岡山)、福島みずほ(社民・比例)、以上秘書。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

代表世話人 宇佐美宏（全国保険医団体連合会歯科代表）

代表世話人 江原雅博（全日本民主医療機関連合会歯科部長）

代表世話人 大沢 文雄（歯科技工士）

世話人 中澤桂一郎（日本医療福祉生活協同組合連合会理事）

保険で良い歯科医療の実現を求める要請書

「健康は健口からはじまる」——口の健康を維持することが、糖尿病の管理をはじめ、高血圧症や動脈硬化、誤嚥性肺炎、認知症の予防等、全身の健康に深い関わりを持っていくことが様々な研究で明らかになっています。甚大な被害をもたらした東日本大震災の歯科医療支援でも、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士等が参加し、「命を守る総合的なケア」の一環として口腔ケアが行われ、あらためてその重要性が認識されました。

しかし、今日の「格差と貧困」社会のなかで、子どもからお年寄りまで経済的理由による歯科受診困難、治療中断・中止で「口腔崩壊」という深刻な事態が広がり、国民皆保険制度のわが国で、歯科保険医療を国民が等しく享受することができない異常な状態が進行しています。

これら深刻な事態を招いたのは、窓口負担の高さに加え、技術料の長期据え置き、新規技術・材料の保険導入の遅れ等、歴代政府の歯科保険医療政策の軽視に原因があることは明白です。

歯科医療供給側も厳しい状況におかれ、マスコミでも「ワーキング・プア歯科医」という言葉が定着し、2011年度の私立歯科大学10校で定員割れとなる等、将来の歯科医師確保と歯科医療の質の低下が憂慮されます。

さらに20代の歯科技工士の8割が未就業、歯科技工士学校や歯科衛生士養成学校でも定員割れが続いています。

現在、私たちが取り組んでいる「保険で良い歯科医療」を求める請願署名は25万筆を超え、「保険で良い歯科医療の実現を求める」意見書は35都道府県の11道県議会534市区町村議会で採択されています。

「格差と貧困」が広がる今こそ、いつでも、どこでも、だれもお金の心配のない「保険で良い歯科医療」の実現は、患者・国民、歯科医療従事者の共通の切実な願いです。

そのため、国の医療予算を増やして、「保険で良い歯科医療」の実現が図れるよう下記の事項を要望いたします。

記

- 1、安心して歯科治療が受けられるように窓口負担を大幅に軽減して下さい。
- 2、健康保険で歯科治療が受けられるよう、保険の効く範囲を広げて下さい。
- 3、保険医の人権を無視し、患者の療養権を奪う指導、監査を抜本的に改善して下さい。
- 4、東日本大震災の復旧・復興で大切な歯科治療を再建して下さい。
- 5、「社会保障・税一体改革」案、TPPへの参加は中止して下さい。

以上